

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1803

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島修道大学			科目開講 キャンパス	本学	
2. 科 目 名	正式科目名	教育文化史			クラス名	
	副題				配当年次	2・3・4
					受入学年	2・3・4
	旧科目名	教育文化史 I 《東アジア世界における日本の教育文化の展開》				
	学問分野	番号	14	名称	教育学	
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	B 群	
3. 担当教員名	森川 潤					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2019 年 4 月 8 日（月）～2018 年 7 月 29 日（月） 月曜日 14：50～16：20					
個別開講日	1 回目 4/8	2 回目 4/15	3 回目 4/22	4 回目 5/6	5 回目 5/13	6 回目 5/20
	7 回目 5/27	8 回目 6/3	9 回目 6/10	10 回目 6/17	11 回目 6/24	12 回目 7/1
	13 回目 7/8	14 回目 7/15	15 回目 7/22	16 回目なし	試験日 7/29	
7. 基礎知識の有無	①. 「基礎知識を必要とする科目」 （日本史・東洋史・西洋史）					
8. 募集人数 (総授業定員)	3 人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	教育文化は、政治的、経済的、社会的要因によって規定されるだけでなく、対外的な交渉を契機とした異文化圏の教育文化の受容と変容を繰り返しながら展開する。そのために、日本の教育文化の歴史的展開をたどるばあい、比較史的な視点からアプローチする必要がある。日本の教育文化は、古代から近世にかけては東アジア世界において中国の影響のもとで育まれ、幕末期、明治期および第二次世界大戦後は欧米諸国の強い影響のもとにおかれる。本講義は、中国を中心とした東アジア世界という自立した文化圏における日本の教育文化の史的展開をあとづける。そのさい、政治的、経済的、社会的背景を考察しながら、いわゆる時代の風を感じながら史料を精読することによって、教育文化のダイナミックな展開を実態的に把握することを課題とする。いわゆる教育史料ではなく、可能なかぎり原史料を使用する。					
11. 試験・評価方法	①すべて授業に出席した受講生を成績評価の対象とする。特別な事情があるばあいには、事情を勘案するが、少なくとも3分の2回以上出席しなければ、成績評価の対象にはならない。 ②定期試験 90%、講義時間中や講義時間外に課した小試験やレポート 10%の割合で評価する。					
12. 別途負担費用	なし。					
13. その他特記事項	なし。					
14. サテライト科目 の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ				可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				可	否